

# 平成31年度 境港市の予算

区分	平成31年度 当初予算額
一般会計	173 億円 (対前年度比 8.9% 増)
特別会計	106 億 3,311 万円 (対前年度比 2.5% 減)
国民健康保険費	38 億 6,922 万円
駐車場費	1,199 万円
下水道事業費	24 億 7,843 万円
高齢者住宅整備資金貸付事業費	532 万円
介護保険費	37 億 7,286 万円
土地区画整理費	711 万円
市場事業費	6,998 万円
後期高齢者医療費	4 億 1,820 万円
計	279 億 3,311 万円 (対前年度比 4.3% 増)

**大型事業を進めていく一方、「規律ある財政運営」に徹することで、市民生活に根差したサービスは堅持しつつ、「魅力と活気にあふれ、心豊かに安心して暮らせるまちづくり」をさらに推進する予算を編成**

平成31年度の当初予算は、境港市民交流センター（仮称）の建設が始まり、一般会計の予算規模が過去最大となった一方で、市税収入の増収が見込めない厳しい状況の中、より一層「規律ある財政運営」に徹することで、行政コストの節減合理化に努めながら、国費等の財源の確保や、ふるさと納税を財源として積み増した基金の有効活用を図ることにより、次世代に過大な負担を残さないよう努めました。

また、市民生活に根差したサービスはしっかりと堅持しつつ、「境港市まちづくり総合プラン（第9次境港市総合計画）」に基づいた観光および水産業の振興、子育て支援・教育環境の充実など地域の活性化や多様化する市民ニーズへの対応など、「魅力と活気にあふれ、心豊かに安心して暮らせるまちづくり」の実現に向けた諸施策に最大限配慮した予算を編成しました。



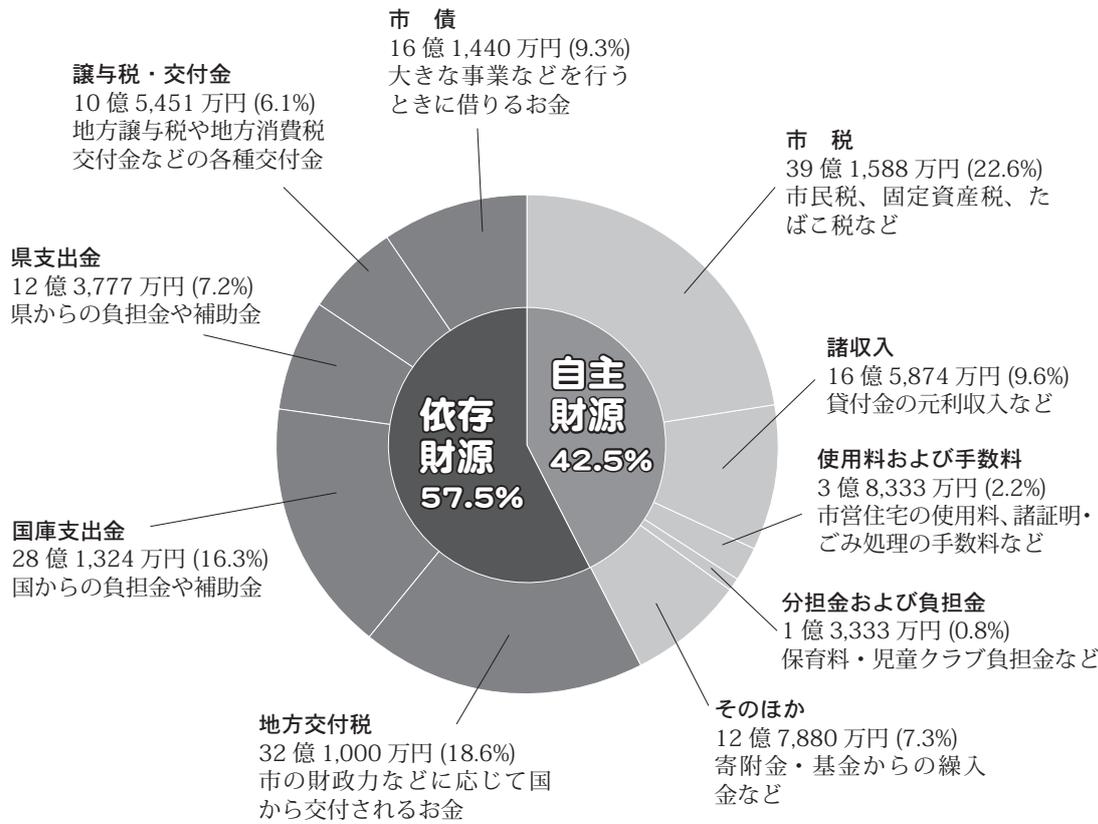
▶問い合わせ先  
財政課財政係 ☎ 47 - 1012

# 一般会計 予算総額 173 億円

## 歳入

自主財源は、10月からの保育の無償化の影響により分担金および負担金の減少を見込むほか、減債基金やふるさと納税を活用した基金等からの繰入金の減などにより、前年度比1.9%減の73億7008万円となっています。

依存財源は、国の示す地方財政計画からの推計等により地方交付税の増額が見込まれるほか、国の補助金を活用して行う境港市民交流センター（仮称）の建設が本格化することにより国庫支出金および市債が大幅に増加し、前年度比18.6%増の99億2993万円となっています。

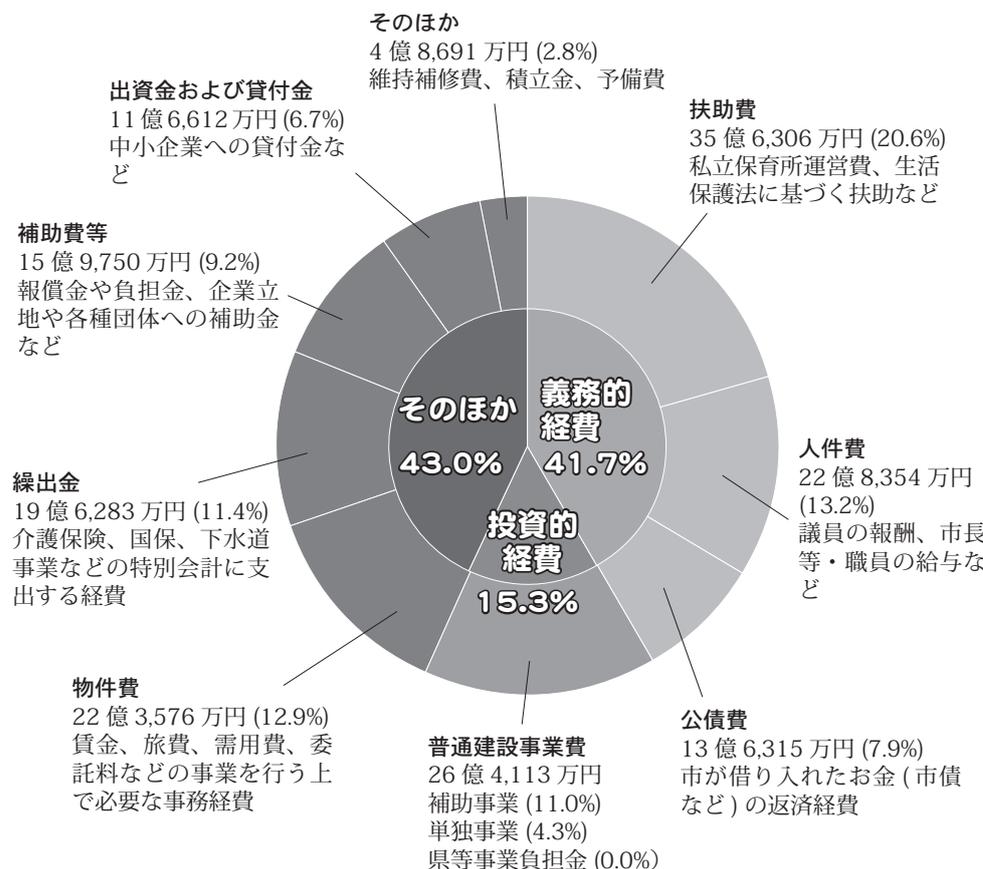


## 歳出

義務的経費は、障がい者自立支援給付費の増などにより扶助費が増したものの、人件費および公債費が減少したことにより、前年度比2.8%減の72億976万円となっています。

投資的経費は、前年度まで実施していた外江ふれあい会館の改築が終了したことなどにより単独事業費が減少したものの、境港市民交流センター（仮称）の建設工事が本格化することに伴い、補助事業費が大幅に増加したことから、前年度比116.8%増の26億4113万円となっています。

そのほかの経費は、出資金および貸付金の減はありますが、新たに学校給食調理等業務委託を実施することによる物件費の増、新たにプレミアム付き商品券を発行することによる補助費等の増などにより、前年度比2.8%増の74億4911万円となっています。



# まちづくりプランにおける 主な取り組み

## ① 広域連携による一体的発展

※新は新規事業

	事業	事業費	事業概要
	中海・宍道湖・大山圏域市長会負担金（共同実施事業分）	747 万円	国内外への観光プロモーションやビジネスマッチング支援を推進。
新	一般社団法人中海・宍道湖・大山圏域観光局負担金	45 万円	一体的な経済・観光圏として広域観光を推進。

## ② 全国ブランド「さかな」と「鬼太郎」を生かした経済振興

	事業	事業費	事業概要
	外国人材地域交流事業	42 万円	外国人技能実習生等が安心して地域生活を送れるよう交流事業を実施。
新	水木しげる記念館あり方検討事業	44 万円	老朽化が進む水木しげる記念館の今後のあり方を検討。
新	中野港漁師と園児の交流事業	18 万円	保育園の園児が中野港の漁師とともに、水揚げの見学や魚に触れるなどの体験学習を実施。
	漁業就業者確保対策事業	3,671 万円	新規就業希望者を漁船員として雇用し、技術習得の研修を実施する漁協等への助成。

## ③ 一人ひとりを大切にされた教育と福祉の充実

	事業	事業費	事業概要
新	障害福祉サービス利用促進リーフレット作成事業	22 万円	幅広く制度の周知が図れるよう、読みやすいリーフレットを作成。
	重度心身障がい児（者）福祉タクシー料金助成事業	286 万円	対象者を拡大し、タクシー利用料金助成券を交付。
新	幼児教育無償化事業補助金	1,968 万円	私立幼稚園の保育料や預かり保育の保育料等を無償化するための助成。
新	療養生活支援事業	4 万円	小児慢性特定疾病児童を対象とした一時預かり事業の利用者負担金を補助。
新	第3子以降保育料軽減事業	235 万円	認可外保育施設を利用する第3子以降の保育料を軽減。
	保育所待機児童対策事業	240 万円	新たに保育士を採用し、3歳未満児の受け入れを増やす私立保育園に雇用奨励金を交付。
新	産後うつ予防事業	267 万円	出産後間もない時期に、産後うつ検査を取り入れた産後健康診査を実施。
新	風しん対策事業	389 万円	現在 39 歳～56 歳の男性に対して、無料で抗体検査・予防接種を実施。
新	成人歯科検診	29 万円	疾患の早期発見や治療のため、成人期の節目年齢に歯周病検診を実施。

	事業	事業費	事業概要
新	骨密度検査	76 万円	骨折予防に繋げるため、節目年齢の女性に骨密度検査を実施。
新	高齢者買物環境調査	18 万円	買物に関する実態把握のためのアンケート調査を実施。
新	介護支援ボランティアポイント事業（介護保険費特別会計）	10 万円	高齢者が介護施設等で行うボランティア活動にポイントを付与。高齢者の介護予防や社会参加を促進。
新	水木しげるロード視覚障がい者用音声案内装置等整備事業	335 万円	水木しげるロード沿いのトイレ3カ所に、視覚障がい者用の音声案内装置等を整備。
	地域学校協働推進事業	491 万円	中学校区を単位とした「コミュニティ・スクール」を導入。
	小学校 ICT 環境整備事業	3,524 万円	ICT 機器を導入し、視覚と聴覚でより効果的な学習の実施。
	中学校 ICT 環境整備事業	937 万円	
	中学校外国語指導業務委託事業	1,405 万円	英語教育充実のため外国語指導助手（ALT）を増員して配置。
新	中学校部活動指導員配置事業	144 万円	指導や大会等の引率も可能な部活動指導員を各校に1人ずつ配置。
新	第三中学校施設整備事業	1,155 万円	校舎の大規模改造および下水道接続（実施設計）。
	学校給食調理等業務委託事業	9,080 万円	学校給食調理および食器等洗浄業務などを民間事業者へ委託。

#### ④ 安心して住みよい生活基盤の充実

	事業	事業費	事業概要
	三軒屋町会館耐震改修等事業	4,421 万円	地区会館の耐震改修等（改修工事）。
	小篠津町会館耐震改修等事業	4,628 万円	
新	幸神町会館耐震改修等事業	711 万円	地区会館の耐震改修等（耐震診断、実施設計）。
新	財ノ木町会館耐震改修等事業	699 万円	
新	新屋町会館耐震改修等事業	692 万円	
新	麦垣町会館耐震改修等事業	687 万円	
	防災行政無線システム更新事業	2,008 万円	市の防災行政無線を2カ年でデジタル防災行政無線に更新。H31: 実施設計 H32: 整備工事（6億3,621万円）
	生ごみ堆肥化促進事業	380 万円	家庭の生ごみ、給食残渣、刈草・剪定枝を堆肥化し再資源化。
	紙おむつ資源化事業	116 万円	使用済み紙おむつを分別し再資源化。
	農地耕作条件改善事業	3,300 万円	荒廃農地など農地利用が低い農地において、再生事業等を実施。

	事業	事業費	事業概要
新	戦略的園芸品目（白ネギ）総合対策事業	72 万円	生産性向上に取り組む農業者の機械導入経費の一部を補助。
新	除雪機械運転手育成支援事業	127 万円	除雪作業の担い手確保のため、委託業者の従業員の大型特殊免許等取得費用の一部を補助。
	中海護岸整備関連事業	1 億 4,724 万円	渡漁港周辺の道路の整備。
新	都市計画マスタープラン改定事業	542 万円	現行のマスタープランを 2 カ年で改定。
新	夕日ヶ丘地区中海かわまちづくり事業	226 万円	ウォーキングコース案内看板やミスト噴霧装置等を整備。
新	公共建築物建物台帳作成事業	800 万円	市有建物情報等を一元的に管理する建物台帳を整備。
	危険ブロック塀撤去費等補助金	200 万円	不特定の者が通行する道に面する危険なブロック塀の撤去および改修にかかる費用の一部を補助。
新	小学校除雪機整備事業	183 万円	各学校に除雪機を 1 台ずつ配置。
新	中学校除雪機整備事業	106 万円	
	美保飛行場周辺まちづくり整備事業	19 億 39 万円	境港市民交流センター（仮称）新築工事を平成 31 年度から 3 カ年で実施。（事業費 H31：19 億 39 万円、H32：9 億 3,032 万円、H33：20 億 3,670 万円）

## ⑤市民との連携による誠実な行政運営

	事業	事業費	事業概要
	まちづくり若者委員会運営事業	7 万円	市政について若者との意見交換会を実施。

## ⑥その他

	事業	事業費	事業概要
新	プレミアム付商品券事業	2 億 3,623 万円	消費税増税対策のため、市民税非課税者や子育て世帯（3 歳未満）に対して、プレミアム付商品券の販売を実施。
新	市民バス運行事業（夜間運行）	11 万円	はまる一歩バスを土曜夜市開催日などに合わせて期間限定で夜間に運行。
新	水木しげるロード街なみ環境整備事業（駅前公園改修）	942 万円	境港駅前公園において照明設備等の整備（実施設計）。
新	海とくらしの史料館開館 25 周年記念事業	75 万円	マンボウやサメをテーマとした講演会・企画展を開催。
新	文化ホール開館 25 周年記念事業	18 万円	フレッシュコンサート（仮称）を開催。
新	2019 レーザー級世界選手権大会負担金	2,000 万円	2019 レーザー級世界選手権大会の開催経費を一部負担。
新	竜ヶ山陸上競技場観覧席屋根改修事業	1,256 万円	老朽化した竜ヶ山陸上競技場観覧席の屋根を改修。
新	市民温水プール改修事業	1,003 万円	外壁や設備等の老朽箇所を改修（基本・実施設計）。

# 主な事業 (目的別)

## 【議会費】 1億7,260万円 (△6.1%)

議会だよりの発行など、市民に開かれた議会への取り組み、人件費などを計上しています。市議会議員人件費の減(△867万円)などにより、1,113万円の減となっています。

## 【総務費】 19億2,743万円 (△2.2%)

庁舎施設など市全体の管理経費や徴税、防災等にかかる経費を計上しています。地区会館の耐震改修等事業が増(+7,037万円)となりますが退職職員の減に伴う人件費の減(△9,444万円)や外江ふれあい会館改築事業の皆減(△6,306万円)などにより、前年度に比べ、4,370万円の減となっています。

事業	事業費	事業概要
境港市総合戦略推進事業	127万円	「境港市総合戦略」の見直し、策定。
自治コミュニティ助成金	500万円	自治会などのコミュニティ組織が行う備品整備などを助成。
ふるさと納税PR	2億502万円	ふるさと納税の寄附者へのプレゼント経費など。
市民バス運行事業	6,054万円	市内全域を循環するコミュニティバス(はまるーぷバス)を運行。
環日本海定期貨客船運航支援	860万円	中海・宍道湖・大山圏域市長会を通じた運航支援の一部負担金。

## 【民生費】 57億564万円 (+0.9%)

保育所待機児童対策をはじめとする子育て施策、障がい者福祉サービスの給付費などを計上しています。児童扶養手当支給事業の増(+3,832万円)などにより、前年度に比べ、5,360万円の増となっています。

事業	事業費	事業概要
障がいのある人への給付や補助	10億5,028万円	障害者総合支援法および児童福祉法に基づく障がい者などへの支援や手当の支給。 聴覚障がい者の日中活動の機会や集える場所を提供。
私立保育所、認定こども園などへの委託料	9億6,756万円	私立保育所、認定こども園、小規模保育施設などへの委託料。
〔特別会計〕 国民健康保険医療費への繰出金	2億9,101万円	保険給付、人間ドック、特定健康診査などを実施する特別会計への繰出金。
〔特別会計〕 後期高齢者医療費への繰出金等	5億3,772万円	後期高齢者の医療給付を行う広域連合への負担金および特別会計への繰出金。
〔特別会計〕 介護保険費への繰出金	5億1,803万円	介護、介護予防サービスの提供などを実施する特別会計への繰出金。

## 【衛生費】 10億6,802万円 (△3.4%)

各種がん検診にかかる経費や米子市への可燃ごみ処理委託料などを計上しています。鳥取県西部広域行政管理組合(清掃費)に対する負担金の減(△2,562万円)、可燃ごみ処理委託料の減(△3,245万円)などにより、前年度に比べ、3,793万円の減となっています。

事業	事業費	事業概要
ごみ減量化	4,150 万円	有料ごみ指定袋の作製販売、軟質プラスチック類の分別などを実施。
ごみ処理委託等	2 億 3,856 万円	米子市への可燃ごみ処理委託や鳥取県西部広域行政管理組合への負担金。
健康診査事業	6,716 万円	各種がん検診などを医療機関や検診車において実施。
予防接種費	6,962 万円	予防接種法に基づく定期予防接種（無料）を実施。

## 【労働費】 1,419 万円（+ 1.6%）

境港市シルバー人材センターに対する運営費助成、ファミリーサポートセンターの運営経費などを計上しています。ファミリーサポートセンター事業の増（+ 14 万円）などにより、前年度に比べ、22 万円の増となっています。

事業	事業費	事業概要
シルバー人材センターの運営補助	985 万円	高齢者の就業機会の増大と福祉増進を図る。
ファミリーサポートセンター事業	419 万円	育児と仕事の両立を手助けし、子育て支援の体制づくりを促進。

## 【農林水産業費】 2 億 5,420 万円（△ 28.4%）

漁業就業者確保対策事業、新規就農者等への助成経費などを計上しています。漁業経営開始円滑化事業の皆減（△ 1,667 万円）、高度衛生管理型市場移行円滑化事業の減（△ 8,134 万円）などにより、前年度に比べ、1 億 100 万円の減となっています。

事業	事業費	事業概要
新規就農者等への助成	1,138 万円	新規就農者などに対して、機械・施設の整備費などを助成。
漁業就業者確保対策事業	3,671 万円	新規漁業就業者を確保するため、研修等に必要となる経費を助成。
農地耕作条件改善事業	3,300 万円	荒廃農地の解消を図るため基盤整備を行い、耕作条件の改善を図る。

## 【商工費】 16 億 7,548 万円（+ 6.4%）

企業自立支援事業が減（△ 7,726 万円）となっていますが、プレミアム付商品券事業の皆増（+ 2 億 3,623 万円）などにより、前年度に比べ、1 億 117 万円の増となっています。

事業	事業費	事業概要
消費者行政推進事業	304 万円	消費生活問題の相談対応や啓発を行う、消費生活相談室の管理運営費。
各種制度融資預託金	11 億 5,462 万円	各種制度融資を通じて企業などの経営安定化を図る。
境港市観光協会補助金	3,163 万円	観光協会事務局および観光案内所の運営費を補助。

## 【土木費】 14億9,528万円（+2.0%）

防災・安全交付金を活用したインフラの老朽化対策および通学路の安全対策などを計上しています。水木しげるロードリニューアル事業費は皆減（△6,335万円）となっていますが、中海護岸整備関連事業（+2,650万円）や市営渡団地下水道接続工事（+2,140万円）などにより、前年度に比べ、2,989万円の増となっています。

事業	事業費	事業概要
さかいポートサウナ運営および施設改修	3,391万円	水産・港湾業従事者などを対象とした福利厚生施設（浴場・サウナ）の管理運営費。
道路の維持管理	2,750万円	計画的に道路の整備を行うとともに、危険箇所の補修等を実施。
公園の維持管理	4,108万円	公園の施設修繕や除草・清掃等の維持管理を実施。
市営住宅の維持管理	1,545万円	市営住宅の施設・設備の修繕等を実施。
一戸建て住宅、建築物の耐震化助成	1,913万円	住宅などの耐震診断、改修費用を助成。

## 【消防費】 4億9,506万円（△0.4%）

消防団第4分団車庫下水道接続事業の皆減（225万円）などにより、前年度に比べ、216万円の減となっています。

事業	事業費	事業概要
鳥取県西部広域行政管理組合負担金（消防費）	4億7,090万円	鳥取県西部広域行政管理組合構成市町村で負担する負担金。

## 【教育費】 31億1,895万円（+94.4%）

市民会館解体事業の皆減（△3億9,587万円）や境港市民交流センター（仮称）の建設（+17億8,024万円）などにより、前年度に比べ、15億1,421万円の増となっています。

事業	事業費	事業概要
中学校部活動指導員配置事業	144万円	教職員の働き方改革、顧問不足解消のため各中学校に部活動指導員を配置。
小中学校 ICT 環境整備事業	4,462万円	小中学校の ICT 環境を整備するための委託費、備品購入費など。
給食センター運営	2億113万円	市内小・中学校10校の児童・生徒に学校給食を提供。
小中学校の管理	1億4,958万円	学校主事の人件費、施設の維持管理費など。
公民館・学習等供用施設運営	8,329万円	公民館（7カ所）、学習等供用施設（3カ所）の人件費、維持管理費など。
体育施設運営	5,402万円	市民体育館等および市民温水プールの指定管理委託料など。
図書館・市史編さん室運営	3,421万円	図書館、市史編さん室の人件費、維持管理費など。

## 【公債費】 13億6,315万円（△5.8%）

長期借入金元金償還金の減などにより、前年度に比べ、8,317万円の減となっています。